



赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)  
第15回助成速報 東日本大震災の支援活動助成 累計約31億8千万円に  
～被災地域で複数の団体が連携したコミュニティづくり・住民とともに工夫をこらした活動に助成～  
16次から被災地で必要とされる重点活動助成を開始

赤い羽根の中央共同募金会(会長 斎藤十朗)が運営する東日本大震災の被災地を支えるボランティアやNPO活動を支える支援金「赤い羽根 災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」による団体助成が、第15回助成で 累計2,733件、総額31億8,244万円となりました。応募総数は98件と、第14次と比較してやや減少しましたが、助成決定額は増加となりました。

【第15回助成決定について】

- ◎第15回助成速報 63件、9,711万円(累計2,733件、31億8,244万円)
- ◎募金額計44億967万9,686円(3月31日現在)

震災後3年半を過ぎて、被災地を取り巻く状況や活動を続ける団体への支援状況も変わり、今回の応募では地域の複数の団体が連携してコミュニティづくりにあたるための活動や、地域の人と一緒に進めるための工夫を凝らした活動が複数見られ、ともに地域を作っていくとする活動に助成決定しました。

■第16次以降のボラサポのしくみについて

ボラサポは当初2011年から2年間の予定で助成を開始しました。その後被災地への聞き取りからさらに2年間助成期間を延ばし、来年の3月まで助成を継続することを決めました。そして今回、さらに助成期間を延長し来年度も2回の助成を行うことにしました。第16次以降は、新しく【重点活動助成】としてテーマを設け、1,000万円を上限とした助成も行います。今度の3月で震災から5年目を迎えますが、被災地への支援として寄付や助成は今よりさらに減少することが予測されています。ボラサポは残りの期間も、必要な活動に支援を続けていきます。

《重点活動助成のテーマは以下の通り》

- A: 社会福祉協議会、中間支援型NPO等を中心に、連携して行うコミュニティづくりのための活動
- B: 中間支援組織が行う団体の運営基盤整備・人材育成サポートのための活動
- C: 被災地/避難先の団体が拠点整備を行う活動
- D: ABCの複合型である活動/その他重点活動助成の趣旨を踏まえた活動

■ボラサポ次回の応募受付

- ・第16次応募受付期間: 2015年1月9日(金)～23日(金)
- ・第16次助成決定: 2015年4月下旬(予定)
- ・第16次応募要項公開: <http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

第15回応募状況と助成速報 (12月26日現在) 【応募受付期間2014年9月5日～2014年9月19日】

全体	短期活動(1ヶ月未満)	中長期活動(300万円上限)
(1) 応募総数 98件	(1) 応募総数 27件	(1) 応募総数 71件
(2) 応募総額 1億9,528万円	(2) 応募総額 1,062万円	(2) 応募総額 1億8,466万円
(3) 助成件数 63件	(3) 助成件数 20件	(3) 助成件数 43件
(4) 助成総額 9,711万円	(4) 助成総額 632万円	(4) 助成総額 9,079万円
(5) 1団体平均額 154万円	(5) 1団体平均額 31万円	(5) 1団体平均額 211万円

Facebookページ <http://www.facebook.com/borasapo>

耳寄り情報 更新中!

●お問合せ・くわしい資料は: 社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 (担当: 武井・城・丁(てい)・山内(真理))  
TEL: 03-3581-3846 (FAX: 03-3581-5755)  
メール: [kikaku@c.akaihane.or.jp](mailto:kikaku@c.akaihane.or.jp)  
ウェブサイト: <http://www.akaihane.or.jp>



2014年12月26日(金)

## 災害ボランティア・NPO活動サポート募金の 第15次助成団体の決定について

### 1. 全体状況

(1) 応募総数	98 件
(2) 応募総額	1 億 9,528 万円
(3) 助成件数	63 件
(4) 助成総額	9,711 万円
(5) 1 団体平均額	154 万円

### 2. 短期活動

(1) 応募総数	27 件
(2) 応募総額	1,062 万円
(3) 助成件数	20 件
(4) 助成総額	632 万円
(5) 1 団体平均額	31 万円

### 3. 中長期活動

(1) 応募総数	71 件
(2) 応募総額	1 億 8,466 万円
(3) 助成件数	43 件
(4) 助成総額	9,079 万円
(5) 1 団体平均額	211 万円

#### ●問合せ先

社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部

電話：03-3581-3846

メール：support@c.akaihane.or.jp

ホームページ：www.akaihane.or.jp

## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」

### 第15回助成決定に当たって

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(以下、「ボラサポ」と略)の第15次の助成先を決める配分委員会(第17回)を開催しました。今回は今後の助成方針について協議するため、第12回運営委員会との合同委員会としました。

基本的には、応募要項ならびに本ホームページ掲載の「(第1回から第14回までの)助成決定に当たって」の考え方に沿いながら、審査しました。

以下に、今回の応募案件の審査過程で検討した事項について整理し、助成先の選考にあたっての考え方をまとめました。

#### 1. 第15次の応募状況と助成決定状況

##### (1) 応募状況

9月5日から9月19日を受付期間とした第15次募集では、1か月未満の「短期活動」に27件・1,062万円、1か月以上の「中長期活動」に、71件・1億8,466万円の応募がありました(合計:98件・1億9,528万円)。

応募件数は、第14次と比較して17件の減少となりました。ただし、応募件数に含んでいない要件不備の応募が14件となり、不備で審査とならない件数は前回の75件から大きく減りました。特に大きな成果として現れたのは、応募締め切り前の指定期日までに応募した団体が、書類を再提出することで要件を満たしたことです。事務局より連絡して再提出があったのが91%、再提出後要件を満たした団体は98%と、早く提出することの効果が見られました。次回もこのしほみを継続することで、できる限り要件不備とならないようサポートを続けていくこととします。

##### (2) 全般的な傾向

第15次応募の活動では、次のような傾向が見られました。

- ①「コミュニティづくり」を目的とする活動はこれまでもあり、ボラサポでも多く助成してきました。第15次の今回は地域の複数の機関が連携してコミュニティづくりに当たるための活動や、地域の人と一緒に進めるための工夫を凝らした活動が複数見られました。支援する側と支援を受ける側といった関係ではなく、外部から応援している団体も、被災地の住民が中心の団体も、元から地域に存在する組織も、そこに住む住民も、連携し合いながらともに地域を作っていくとする活動であることが応募書から読み取れました。
- ②過去に不採用になった活動については、一定の条件を満たさない限り基本的には助成しないと「応募の手引き」で定めています。第15次では、この条件を満たし採用になった活動が複数件ありました。再度の応募で活動の必要性や工夫、経費の使いみち、資金確保の見通しが読み取れたことで助成という判断になりました。不採用が続き応募する意欲を失っている団体も増えていると現地の支援組織からも聞きます。不採用という結果になった活動につきましても助成となる場合がありますので、こうした点に留意して再度の応募をご検討いただきたいと思います。

## 2.今回、検討を行った助成の考え方について

### [第15次の審査について]

#### ①放射線もしくは放射能測定を目的とする活動について

第15次では避難指示解除準備区域における個人宅の放射線測定活動や、農業の復興のための測定支援活動の応募がありました。配分委員会で協議した結果、そうした活動が求められている状況があることは理解しましたが、本助成事業としては対象外とします。理由は以下のとおりです。

経済産業省は「放射能及び放射線を正しく測定するためには、以下の点に留意して下さい」として、目的に合った信頼性ある測定器を選択し、定期的な保守点検、校正をすること、また試験サンプルの採取、分析手順、試験結果の整理等を定めた公定法に基づき、正しく測定を実施することが必要としています。ボラサポに応募された活動がこうした要件を満たしているのかを判断することは難しいこと、また測定値がどのように取り扱われるのかの確認ができないことから対象外としました。

また、農業の復興のための活動については、必要性は十分理解するものの、ボラサポが「東日本大震災の被災者に対するボランティア活動」に対する助成であり、生業支援そのものを目的とする活動について対象としていないことから、助成の対象外と判断しました。

#### ②放射線防護服を購入する経費について

配分委員会では、「第6回助成決定に当たって」で判断した以下の内容に基づき議論を行いました。その結果、この経費については以下に示す論点 i の内容に基づき、助成の対象外とします。

《ボランティア団体に拠る放射線除染活動について》(一部抜粋)

- 方針:いわゆる「除染」を主目的とした活動については、ボラサポの助成対象外とします。
- 考え方:本助成事業においては、本来除染活動はボランティア活動で対応するものではなく、国等の対応が望ましいということ考え方の基本としました。
- 論点 i ) 装備を整えてまでしなくてはならない作業はボランティア活動の範囲を超えているのではないか。
- 論点 ii ) 活動した個々のボランティアに対し、活動日数や活動時間などケースによっては長期間に渡って健康状況を把握することなどの安全管理がボランティア団体に可能なのか。

## 3. 第16次以降のボラサポのしくみについて

### (1)第18次まで助成を延長します

前回の「助成決定に当たって」では、応募がいまだ多く寄せられていること、また中長期活動において広域避難者支援活動の応募が多かったことから、第16次で終了予定だったボラサポの延長を検討することについてお伝えしました。これを受け、被災地の中間支援組織を中心に、現地のニーズについて聞き取りを行ったところ、これからの時期にこそ支える助成が必要であるとの声が多く聞かれました。これらからボラサポの助成を続ける必要性が高いと判断し、次年度も2回の助成を行うこととしました。

### (2)特に必要とされる活動に重点的に助成を行います

ヒアリングの結果等を受け、震災から5年目を迎える被災地において必要とされる活動に重点的に助

成することになりました。テーマを4つ設け、そのテーマに当てはまる活動については上限を1,000万円として応募を受け付けます。この活動については従来の活動よりも助成対象期間を長く設け、2017年3月末までの活動を対象とします(従来の活動は2016年3月末まで)。また、助成終了後も地域に残る活動を応援したいという思いから、基本的に以下の条件に当てはまる団体を対象とします。

【応募団体の条件】

- ・ 被災地の住民が主要活動者の半数以上を占める団体
- ・ ボラサポの助成を受けたことがあるか、もしくは現地で1年以上の活動実績がある団体
- ・ 今後長期にわたる活動を予定しており、地域のニーズに基づいている活動

この重点活動助成については、応募締切後に改めて活動について追加の資料を提出いただきます。また、場合によっては、審査段階で300万円を上限とした活動への変更をお勧めすることがあります。1,000万円の助成枠には限りがありますので、応募金額の変更が可能な場合はぜひご検討ください。

◎重点活動助成テーマ

A:社会福祉協議会、中間支援型NPO等を中心に、連携して行うコミュニティづくりのための活動

復興住宅移転後のコミュニティづくりには、被災地の社会福祉協議会やNPOの力がこれまで以上に必要とされています。また、仮設住宅に残る人はこれまでのつながりが失われることや、経済的に困窮している人が多いことも予想され、さらに支援が必要と考えられています。そうしたコミュニティづくりの課題に対してそれぞれが個別に活動するのではなく、同じ地域で連携をとりながら活動していくことで、より大きな成果が生まれることを期待し、助成を行います。具体的には、社協もしくは中間支援型NPOが中心となってプラットフォームを作るなど、ある程度の範囲の地域に対するコミュニティづくりの活動を対象とします。

B:中間支援組織が行う団体の運営基盤整備・人材育成サポートのための活動

震災後被災地では多くのボランティア団体やNPO法人が設立されましたが、疲弊し、活動を停止したり解散するところも増えてきたと耳にします。こうした状況の中、中間支援組織が行う団体サポート事業により多くの効果を生み出し、継続して活動できる団体が増えることを期待し、助成を行います。

特に、通常中間支援組織に相談に来られなかったり、情報を知らず支援が受けられていなかったりする団体を掘り起こし、支援することができるようにするための工夫がある活動を重視します。具体的な活動内容としては、会計・税務・法人化支援や、ファンドレイズ、ネットワークづくり、ボランティア参画推進、また連携を促進するための共同事務所のコーディネートなどを想定していますが、必要とされる活動があれば自由にご応募いただきたいと思います。

C:被災地/避難先の団体が拠点整備を行う活動

長期に活動を展開していくときに多くの団体が直面する課題が安定した場所の確保です。一定の条件を満たす団体に建設費の一部等拠点設置費を助成することで、機能の拡大や安定した活動を支援します。

具体的には住民が集まれるサロンのような場としての利用を想定しますが、拠点の一部を団体の事務所として使うことも可能です。また子ども、高齢者、若者、障害者、外国人、広域避難者など対象を絞

って行う活動でも構いません。新しい場所の建設(建設費)、今ある拠点の賃借(賃借料)に加え、すでにあるプレハブ等を移設して拠点にすることも対象とします(移設費)。

【一定の条件】(応募団体の条件に加えて)

- ・ 拠点を設置する地域の社協もしくは行政と連携を取っている団体
- ・ 拠点を設置するにあたり、近隣住民との調整ができる団体
- ・ 建設費を助成する場合は法人格を取得している団体
- ・ 被災 3 県以外の場合は避難した人が主要活動者の半数以上を占める団体

【助成費目】

- ・ 建設費
- ・ 修繕費
- ・ 賃借料
- ・ 備品購入費
- ・ 移設費

D:ABCの複合型である活動/その他重点活動助成の趣旨を踏まえた活動

AとC、BとCのようにABCのテーマを組み合わせる活動も上限を1,000万円としてこの枠で受け付けます。その他、以下の条件を満たす活動についても応募を受け付けますが、300万円上限の活動期間をただ延長したような活動については、基本的に1,000万円での助成は行いません。

【一定の条件】

- ・ 被災地社協・行政および地域の複数の団体と協働して行う活動
- ・ 300万ではなく1,000万円の資金が必要であることが応募書から読み取れる活動
- ・ 被災地域コミュニティの再興を目指す活動

### 3. 終わりに

ボラサポは当初2011年から2年間の予定で助成を開始しました。その後被災地への聞き取りからさらに2年間助成期間を延ばし、来年の3月まで助成を継続することを決めました。そして今回、さらに助成期間を延長し来年度も2回の助成を行うことにしました。新しく【重点活動助成】としてテーマを設け、1,000万円を上限とした助成も行います。今度の3月で震災から5年目となりますが、被災地への支援として寄付や助成は今よりさらに減少することが予測されています。ボラサポは残りの期間も、必要な活動に支援を続けていきます。

以 上

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」  
配分委員会 委員長 山崎美貴子

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

【短期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	社会福祉法人 北上市社会福祉協議会	岩手県北上市	沿岸被災地復興支援のためのボランティアバス運行事業	岩手県釜石市・陸前高田市	5
2	藤岡災害ボランティアサークル	群馬県藤岡市	日帰りバスツアーによる被災地のニーズに沿った海岸・河川・公共地の清掃や、ビニールハウス解体等の支援活動	宮城県気仙沼市、福島県南相馬市小高区	42
3	京都技術士会理科支援チーム	京都府京都市東山区	東日本大震災復興支援のための子供理科実験教室2014の開催	福島県会津若松市・喜多方市	24
4	震災支援京都ネット	京都府京都市中京区	長期にわたり応急仮設住宅で生活をされている方々への慰問活動	宮城県女川町・気仙沼市	27
5	NPO法人 東日本ネットワーク手にぎり隊	東京都八王子市	長引く避難生活をされている住民のためにマッサージや健康相談を行う健康促進活動	岩手県大船渡市・宮古市・山田町・大槌町、宮城県多賀城市、福島県郡山市(双葉町の原発避難者)	44
6	AMDA兵庫	兵庫県明石市	宮城県石巻市雄勝町民のための心身の健康増進事業	宮城県石巻市雄勝町	20
7	学校法人 藤女子大学人間生活学部 船木研究室	北海道石狩市	女子大生たちが被災地の団体などと連携した「顔のみえる関係(支援者側と被災者との絆)づくり」を通して被災地の復興に貢献する活動	宮城県岩沼市・名取市・亘理町・山元町	20
8	NPO法人 大震災義援 ウシトラ旅団	東京都千代田区	柔道整体師派遣による仮設住宅住民のための臨時整骨院開設事業	福島県いわき市泉玉露	18
9	七里ガ浜発 七ヶ浜復興支援隊	神奈川県鎌倉市	宮城県七ヶ浜と鎌倉市七里ガ浜の交流を通じた、長期的な七ヶ浜の復興支援活動	宮城県宮城郡七ヶ浜町	50
10	一般社団法人 ゲットライブリー	東京都日野市	いわき市内の子供たちに笑顔と元気を与えるサロン活動	福島県いわき市	48
11	UT-OAK震災救援団	千葉県柏市	南三陸町の仮設団地でくらす子どもたちのための寺子屋活動	宮城県本吉郡南三陸町	33
12	学校法人 日本社会事業大学	東京都清瀬市	ボランティアバスによる被災地の子ども達を対象とした継続的な遊びの集い事業	宮城県気仙沼市	30

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

【短期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
13	千葉県教職員組合東葛支部	千葉県柏市	瓦礫除去や語り部プログラムなど南三陸町の復興支援のためのボランティア事業	宮城県南三陸町	44
14	四日市東日本大震災支援の会	三重県四日市市	集団移転で新たな課題を抱える仮設住宅を見守るためのイベント開催及び仮設住宅集会所や生活復興支援センターの窓拭き活動	宮城県東松島市	41
15	学校法人 星槎国際高等学校	北海道芦別市	相馬市の小中学生のためのスキー体験を中心とした北海道での野外活動	北海道芦別市	25
16	SVB	神奈川県厚木市	南相馬市小高地区の復興支援のための被災者住宅の廃棄物、がれき撤去、清掃および観光支援活動	福島県南相馬市小高区	49
17	東北応援団 白金支部	東京都港区	女川町仮設住宅避難者のコミュニティ形成、またその定着化の為に自治会サポート活動	宮城県牡鹿郡女川町	21
18	公益財団法人 東京YWCA	東京都千代田区	おもに福島の放射線量の高い地域に住む親子のための転地保養事業	東京都千代田区・渋谷区、福島県福島市	36
19	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」	滋賀県高島市	放射能汚染及び津波被害地の避難生活者のための帰還後の生活環境整備	福島県南相馬市小高区	48
20	学生ボランティア団体OPERATIONつながり	広島県東広島市	仙台市のニッペリア仮設住宅での交流会と世帯訪問などの心の事業	宮城県仙台市若林区	7



**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	NPO法人 蜘蛛の糸	秋田県秋田市	岩手県釜石市・大槌町の被災者及び秋田県内への避難者の心の支援及び生活支援活動	秋田県秋田市、岩手県釜石市・大槌町	170
2	NPO法人 東日本ネットワーク手にぎり隊	東京都八王子市	被災地地域コミュニティ再生のための専門家を交えた意見交換会・勉強会の実施	宮城県仙台市太白区・名取市・多賀城市・気仙沼、岩手県大船渡市・陸前高田市・大槌町・山田町・宮古市・野田村、福島県郡山市(双葉町の避難者)	217
3	一般社団法人 あおばサポート	宮城県仙台市青葉区	被災地域より仙台市への転入者と地域住民のための電話相談、および訪問傾聴活動	宮城県仙台市	224
4	NPO法人 HERO	宮城県仙台市泉区	東日本大震災によって傷ついた子ども達にオリジナルヒーロー“破牙神ライザ一龍”を起用して慰問・公演し、愛と勇気と笑顔を届ける活動	宮城県被害が甚大だった地域、岩手県、福島県	261
5	大阪府下避難者支援団体等連絡協議会	大阪府大阪市浪速区	東日本大震災における被災者・避難者のための地域生活支援及び支援ネットワーク構築のための協働促進事業	大阪府	233
6	一般社団法人 あむえこねっと	神奈川県川崎市多摩区	コミュニティ維持と自立・生活支援のためのルームシューズづくりの事業	福島県相馬市、神奈川県川崎市多摩区	166
7	さいごまで家族の会	福島県伊達市	福島県下の各保健所からの犬猫の里親探しや、セラピードッグとして育成された犬による動物介在療法を通じた、人と動物の共生できる社会づくりの活動	福島県伊達市を中心とする県北地域・郡山市、宮城県仙台市周辺地域、山形県山形市近辺	225
8	東日本大震災復興支援～絆～プロジェクトおおむた	福岡県大牟田市	広域避難者のための心のケア活動と、被災地と支援者を繋ぎ続けるための情報宣伝&コーディネート活動	福岡県大牟田市、宮城県石巻市・南三陸町、福島県二本松市・郡山市	139
9	ひとりじゃないよプロジェクト・福井	福井県福井市	福井県への広域避難者の生活自立支援ならびにコミュニティ形成支援事業	福井県福井県内一円	256
10	NPO法人 はちみつ	茨城県高萩市	音楽療法と心理セッションを用いた心と体の健康や人と人の円滑なコミュニケーションを促進する活動	福島県いわき市、茨城県北茨城市・高萩市	292
11	認定NPO法人 BHNテレコム支援協議会	東京都台東区	飯舘村避難村民に対する健康維持及びコミュニティ再生を支援する活動	福島県飯舘村	193
12	NPO法人 地球の楽好ふくしま	福島県福島市	支援から漏れてしまっている子育て世代の母子が心身ともに健康的に過ごせる生活環境づくりを支援する活動	福島県福島市・伊達市、東京都渋谷区	260

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
13	NPO法人 青空保育たけの子	福島県福島市	農業体験を通じ子ども期に大切な五感を磨き食育によって生きる力を育む活動	福島県福島市、山形県米沢市	270
14	認定NPO法人 アレルギー支援ネットワーク	愛知県名古屋市中村区	アレルギーの知識の普及啓発を行うことによる被災地のアレルギー患者の命を守る事業	岩手県大船渡市・陸前高田市	159
15	Teamこどもみらい	長野県松本市	長野県内の避難者・支援者・被災地・避難元地域を積極的につなげるための総合的な活動	長野県松本市およびその近隣自治体・長野県内にこだわらず、保養・避難・帰還を支援する団体とつながれる地域	58
16	ろっこう医療生活協同組合	兵庫県神戸市灘区	大船渡市の仮設住宅等での被災者の健康維持・促進のための活動	岩手県大船渡市	168
17	認定NPO法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど	千葉県松戸市	千葉県東葛飾地域の広域避難者との交流・生活再建サポートプロジェクト活動	千葉県我孫子市・柏市・松戸市・流山市・野田市	271
18	NPO法人 コドモ・ワカモノまちing	東京都千代田区	石巻市を中心とした、遊びの機会の創出や子どもの居場所づくり、仮設住宅等における住民同士ののコミュニティ育成事業	宮城県石巻市、東京都各所	300
19	避難者を支援する志太榛原住民の会	静岡県藤枝市	原発警戒区域からの避難者のための、肩もみ、傾聴などによる心の支援事業	福島県南相馬市・二本松市	110
20	NPO法人 タクイハート	埼玉県加須市	原発事故により埼玉県に避難してきた方たちのための交流・情報交換活動	埼玉県加須市、福島県	223
21	一般社団法人 BIG UP石巻	宮城県石巻市	被災した街に再び人々が戻ってくる事を願い、コミュニティスペースを舞台にして、地域住民が主体となって魅力的な街を形成するプロセスを側面支援する活動	宮城県石巻市釜・大街道地区を中心とした市街地	277
22	NPO法人 生活習慣改善センター	宮城県仙台市青葉区	仮設・みなし仮設住宅入居者の生活支援及び復興住宅入居準備支援活動	宮城県仙台市	243
23	NPO法人 にじいろクレヨン	宮城県石巻市	石巻市・東松島市内の子どもたちが健全な精神でのびのびと成長することができるための子どもの居場所づくり支援事業	宮城県石巻市・東松島市	234
24	ACTION ~student's project for 3.11~	宮城県気仙沼市	気仙沼大島におけるかわらばんを子どもたちと一緒に作成するワークショップ活動	宮城県気仙沼市	100

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
25	NPO法人 輝きの和	岩手県宮古市	被災者に対する「裂き織り」の工芸技術者育成支援活動	岩手県宮古市	110
26	被災地支援プロジェクトチーム En	東京都目黒区	被災地の学生のための地域と協働した学習支援活動	宮城県石巻市、東京都目黒区	298
27	NPO法人 さんりくWELLNESS	岩手県大船渡市	仮設住宅で体操教室を通じた健康の維持・増進やコミュニティの形成を行うための事業	岩手県大船渡市・大槌町	300
28	NPO法人 鍼灸地域支援ネット	滋賀県甲賀市	広域避難者を含む被災者、支援者に対する有資格者による「鍼灸・マッサージサロン」及び医療者等専門家による「援助的傾聴」活動	岩手県大槌町、宮城県石巻市、京都府京都市	198
29	NPO法人 ハンズオン埼玉	埼玉県さいたま市浦和区	埼玉県内の避難者のための情報誌の発行およびネットワーク推進支援事業	埼玉県県内全域の避難者	226
30	NPO法人 ピースジャム	宮城県気仙沼市	気仙沼市の拠点を活用した母親の就労支援と子どもを通じた地域コミュニティの再生・創出事業	宮城県気仙沼市	247
31	学校法人 立教大学 東日本大震災復興支援プロジェクト	埼玉県新座市	仮設住宅訪問、学習支援、高齢者・避難者との交流支援や、被災地の住民、東京への避難者のコミュニティ再生のための伴走的支援活動	福島県いわき市、東京都東久留米市、宮城県南三陸町	233
32	NPO法人 ソシオキュアアンドケアサポート	東京都大田区	美容ケアによるスキンシップを通じた一人暮らしの高齢者の孤立防止、介護者支援事業	福島県南相馬市	157
33	一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク	神奈川県大和市	夏祭りを通して支援の手が行き届かない孤島＝網地島の住民のコミュニティを再生させる事業	宮城県石巻市網地島	194
34	NPO法人 和	京都府京都市下京区	京都に避難し居住する一人親家庭などが交流しながら就労できる飲食店兼交流スペース「キッチン Nagomi」を運営する活動	京都府京都市・宇治市等	168
35	NPO法人 NPOほうらい	福島県福島市	送迎バスを運行することによる、飯館村みなし仮設住民のための孤立防止支援活動	福島県福島市・伊達市・川俣町	257
36	認定NPO法人 杜の伝言板ゆるる	宮城県仙台市宮城野区	資金不足や組織運営の課題を抱える被災地のNPOのための会計サポート事業	宮城県全域	250

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第15回 助成団体一覧【速報】**

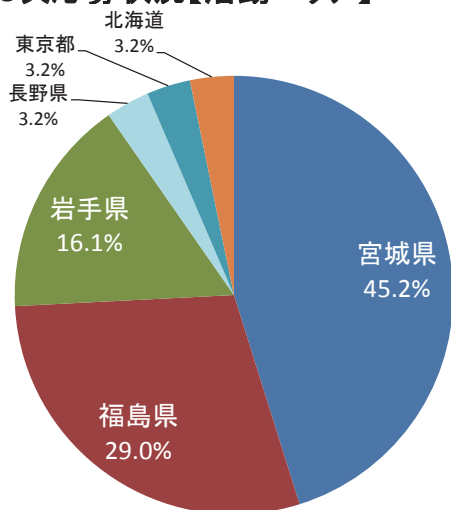
【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
37	ARTS for HOPE 岩手支局	岩手県陸前高田市	仮設住宅間のワゴン車の運行により、心の元気を応援するとともに地域交流と活性化をはかる事業	岩手県大船渡市・陸前高田市	167
38	NPO法人 冒険あそび場・せんだい・みやぎネットワーク	宮城県仙台市青葉区	子どもの心のケアとコミュニティ形成のための遊び場づくり、および子どもたちを見守る大人たちのコミュニティ再生事業	宮城県仙台市・岩沼市	212
39	一般社団法人 さとうみファーム	宮城県本吉郡南三陸町	森の再生を通して三陸の豊かな海を守り、持続可能な里海山社会を築くきっかけを創る活動	宮城県本吉郡南三陸町歌津寄木地区	222
40	NPO法人 ezorock	北海道札幌市中央区	福島の子もたちが北海道で心身ともにリフレッシュするために必要なボランティア受入体制の構築事業	北海道七飯町大沼をはじめとする全道15か所	232
41	一般社団法人 ふらっと一ぼく	宮城県宮城県亘理郡亘理町	宮城県山元町・県南地域住民による中間支援機能の拡充のためのサポート事業	宮城県宮城県亘理郡山元町を中心とした宮城県南地域	257
42	NPO法人湘南遊映坐	神奈川県藤沢市	長期化する復興・避難生活を支える新たなコミュニティ創造のための出張映画祭事業	福島県南相馬市	97
43	小国からの咲顔	福島県伊達市	食育講座、健康法講座を通して福島の親子の心身の健康を築く事業	福島県伊達市・福島市	205

# 災害ボランティア・NPO活動サポート募金 短期活動助成金 第15次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

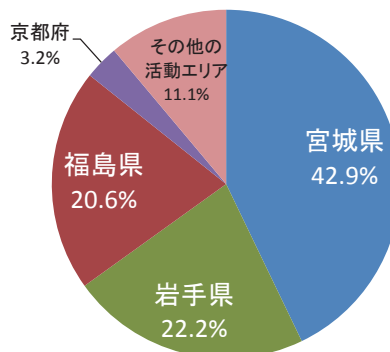


## 第15次応募状況【活動エリア】



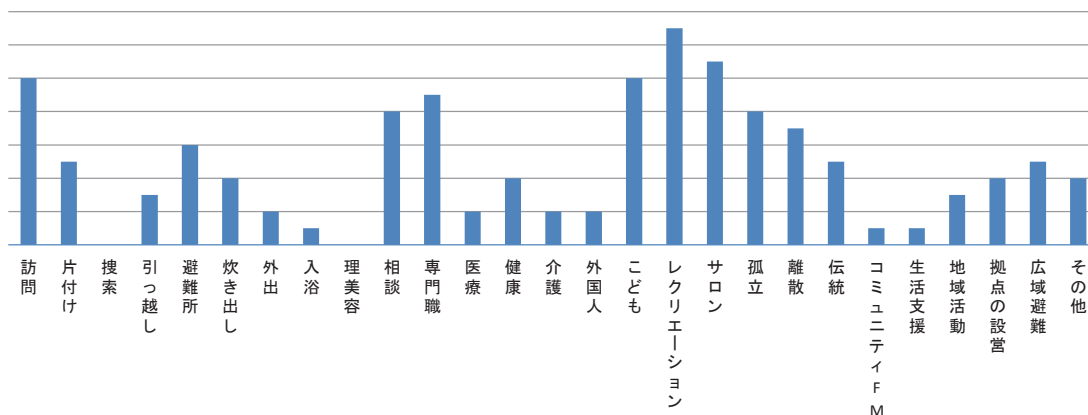
## 短期

## 第14次応募状況【活動エリア】



## 活動内容分類

(応募書アンケートより作成)



### 【活内容分類項目詳細】

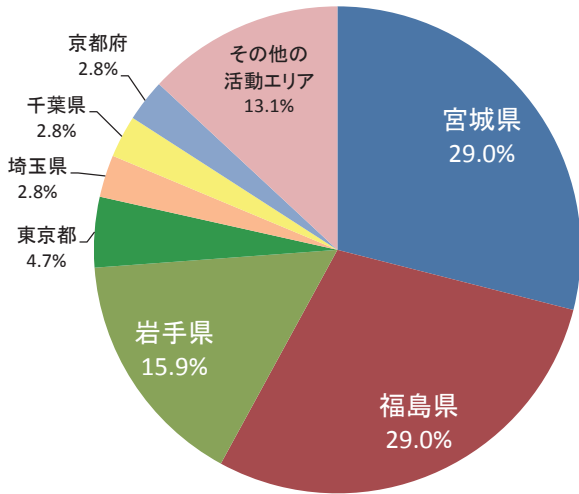
訪問	在宅被災者の訪問・安否確認・物資の配達等	介護	介護・介助
片付け	被災家屋の瓦礫等の片付け・物品の搜索等	外国人	障害者・外国人等のコミュニケーション支援
搜索	行方不明者の搜索・連絡の支援	子ども	子どもの保育・学習支援
引っ越し	仮設住宅等への引っ越しの支援	レクリエーション	レクリエーション・文化・スポーツ活動
避難所	避難所の被災者の支援・避難所の運営支援	サロン	サロン活動
炊き出し	炊き出し	孤立	孤立防止
外出	外出・通院・移送等の支援	離散	離散した被災者同士のつながりを支援する調査・情報提供・交流支援等
入浴	入浴	伝統	災害で中断した伝統・文化・地域活動等を復興する活動
理美容	理美容	コミュニティFM	ミニコミ・コミュニティFM・サイト運営等情報・交流支援
相談	相談	生活支援	新たな生活支援サービスの開発
専門職	専門職としての活動	地域活動	新たな地域活動の開発
医療	医療	拠点の設営	支援拠点の設営・ボランティア等のコーディネート・活動開発支援
健康	健康管理	広域避難	広域避難者に対する支援活動
		その他	その他

# 災害ボランティア・NPO活動サポート募金 中長期活動助成金 第15次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

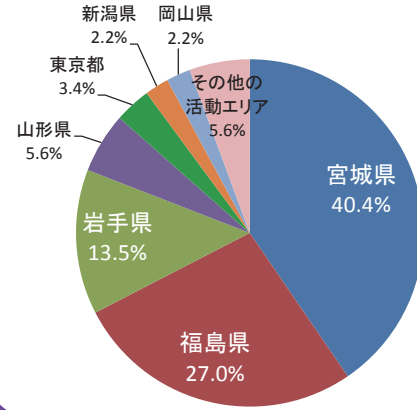


## 第15次応募状況【活動エリア】



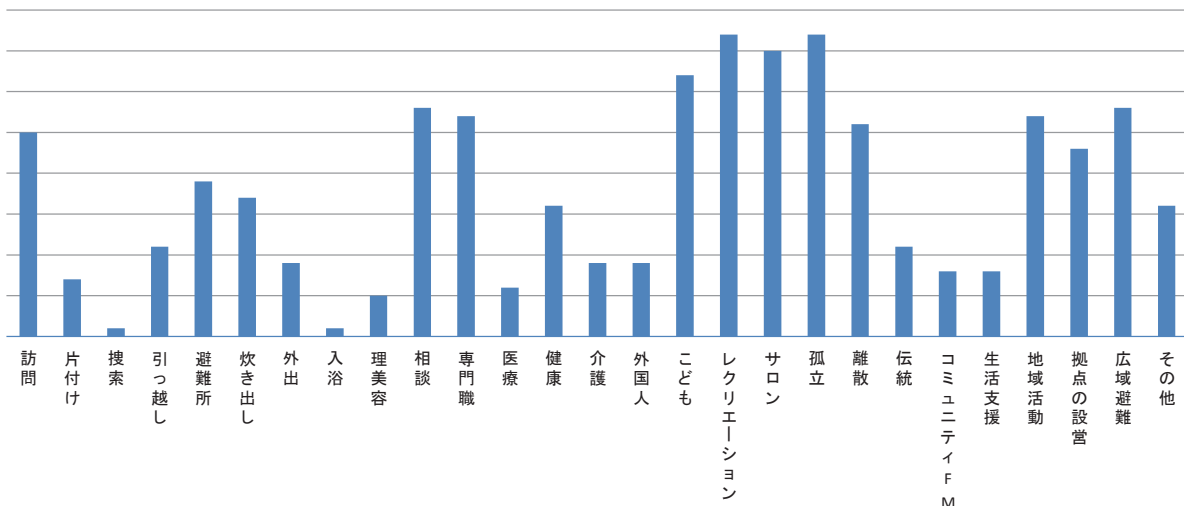
## 中長期

## 第14次応募状況【活動エリア】



(応募書アンケートより作成)

## 活動内容分類



### 【活内容分類項目詳細】

訪問	在宅被災者の訪問・安否確認・物資の配達等	介護	介護・介助
片付け	被災家屋の瓦礫等の片付け・物品の搜索等	外国人	障害者・外国人等のコミュニケーション支援
搜索	行方不明者の搜索・連絡の支援	子ども	子どもの保育・学習支援
引っ越し	仮設住宅等への引っ越しの支援	レクリエーション	レクリエーション・文化・スポーツ活動
避難所	避難所の被災者の支援・避難所の運営支援	サロン	サロン活動
炊き出し	炊き出し	孤立	孤立防止
外出	外出・通院・移送等の支援	離散	離散した被災者同士のつながりを支援する調査・情報提供・交流支援等
入浴	入浴	伝統	災害で中断した伝統・文化・地域活動等を復興する活動
理美容	理美容	コミュニティFM	ミニコミ・コミュニティFM・サイト運営等情報・交流支援
相談	相談	生活支援	新たな生活支援サービスの開発
専門職	専門職としての活動	地域活動	新たな地域活動の開発
医療	医療	拠点の設営	支援拠点の設営・ボランティア等のコーディネート・活動開発支援
健康	健康管理	広域避難	広域避難者に対する支援活動
		その他	その他



## 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

### <配分委員会名簿>

(五十音順・敬称略)

#### 【委員長】

- 山 崎 美 貴 子 (「広がれボランティアの輪」連絡会議 代表/  
東京ボランティア・市民活動センター 所長)
- 伊 藤 道 雄 (特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター 顧問)
- 山 田 秀 昭 (社会福祉法人 全国社会福祉協議会 常務理事)
- 佐 藤 正 敏 (1% (ワンパーセント) クラブ 会長、  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 相談役)
- 橋 本 淳 (公益社団法人日本青年会議所 副会頭)
- 堀 田 力 (公益財団法人さわやか福祉財団 会長)
- 山 内 明 子 (日本生活協同組合連合会 執行役員・組織推進本部長)



## 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

### <運営委員会委員名簿>

(五十音順・敬称略・2014年4月現在)

阿南健太郎 (一般財団法人 児童健全育成推進財団業務部課長)

安藤雄太 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)

鹿住貴之 (認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK  
理事・事務局長)

古賀桃子 (特定非営利活動法人ふくおか NPO センター 代表)

斎藤仁 (一般社団法人日本経済団体連合会 政治社会本部長)

佐甲学 (社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/  
全国ボランティア・市民活動振興センター所長)

諏訪徹 (日本大学文理学部社会福祉学科 教授)

早瀬昇 (認定特定非営利活動法人日本NPOセンター 代表理事/  
社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事)



星 野 智 子（一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事）

森 本 勝 也（公益社団法人日本青年会議所 地域防災確立委員会委員長）

山 口 誠 史（認定特定非営利活動法人国際協力 NGO センター 事務局長）

山 ノ 川 実 夏（MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス  
（株）人事・総務部 部長）

中 島 謙 次（社会福祉法人中央共同募金会 常務理事）